

### △ご使用上の注意事項

- 本製品は正しく使用しない場合、本体やドリルなどが破損する恐れがあります。  
破損した場合、破片や被削材等が飛散し、重大な傷害事故を招くことも考えられます。  
必ず取扱説明書および警告文をお読みになり、充分ご理解いただいた上で、正しくご使用ください。
- △警告
- 本機の改造や分解は絶対にしないでください。
  - 本製品は穴あけ加工以外には使用しないでください。
  - 本製品は鋭利な刃先を有するドリルビットを使用しています。作業時には怪我をしないように充分ご注意ください。
  - 使用する電気ドリルにつきましては最高使用回転数（3600min<sup>-1</sup>）を超えないようにしてください。
  - 電気ドリルの使用方法は電気ドリル本体の取り扱い説明書をよくお読みください。
- 使用前
- セット完了後、ドリルの欠損、割れ、異常摩耗ならびに、本体の割れ、歪み、曲がりなどの異常がないことをご確認ください。製品のガタつきもないかをご確認ください。
  - ご使用する前に何回、取り付けネジの締めがいいか、ドリルとドリルビットのチャック緩みがないかなど必ず確認をしてから作業を開始してください。
  - ドリル取り付け後は無負荷回転し異常音や難の振れや振動がないことをご確認ください。異常が認められた場合は、再度取り付けを調整し、異常がないことをご確認の上ご使用ください。
  - 作業場のまわりをきれいに整理してから作業してください。まわりに物があると接触したり、人がいると作業時の部品や被削材の飛散による怪我の恐れがありますので充分ご注意ください。
  - 取扱説明書の組み立て方法および使用方法に従い、よくご理解いただいた上でご使用ください。
  - 本製品に適合しない機械でのご使用はおやめください。
- 使用時
- 必ず保護メガネ・防じんマスク・作業手袋などの保護具を着用してから作業を開始してください。
  - ネクタイや袖口のしほられない服など巻き込まれる恐れがある服装では作業しないでください。
  - 加工する材料は必ずクランプなどでしっかりと固定し、周りの安全を確認してからご使用ください。
  - 本製品のベースを作業台などにしっかりと固定（クランプやボルトなどで）し、使用中に本製品が倒れることがないようにしてからご使用ください。
  - ドリルの刃先および回転中の刃物は大変危険ですので、絶対に触れないでください。
  - 過度な押しつけなどの負荷は刃先の飛散やハンドルの湾曲につながりますのでご注意ください。
- 使用後
- 電気ドリルのスイッチを切り、完全に停止後、コンセントを抜いてください。
  - 木屑等、汚れを取り除き、ボディとシャフト固定箇所及びハンドル稼働部などに潤滑スプレーなど吹き付け保護してください。

# 垂直ドリルスタンドII

## 取扱説明書

SDS-45



### 別売品のご紹介

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292310895	SK11	角ノミ	6.4mm(1/4")
4977292310801	SK11	角ノミ	8.0mm(5/16")
4977292310918	SK11	角ノミ	9.5mm(3/8")
4977292310925	SK11	角ノミ	12.7mm(1/2")
4977292310789	SK11	角ノミアダプターII(角ノミアダプター兼用)	SKA-45

(注)  
角ノミ作業をされる場合は必ず左記の  
当社指定の角ノミアダプターII及び角ノミ  
をご使用ください。

### 適合する電気ドリル（振動ドリル）の紹介

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292492003	E-Value	振動ドリル	ED-650VA(首径45mm)

(注)必ず回転モードに設定してからご使用ください。

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292220958	HI-STEEL	ボールバイス	75mm

\*ボルト・ナット・平ワッシャーは市販のものを購入し取り付けしてください。  
上記掲載品は予告なく仕様変更やモデルチェンジの場合がございますのでご了承ください。

 発売元  
**藤原産業株式会社**

情報サービスセンター ☎ 0794-86-8200

当社製品のご相談は…

0794-86-8200

受付時間：平日9:00～17:00

尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

製品をご使用になる時は、安全に心掛けて正しくお使いください。

この度は、SK11 垂直ドリルスタンドII SDS-45をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分に理解の上で、適切な取り扱いと保守をして、いつまでも安全に効率よくお使いくださいようお願い申し上げます。

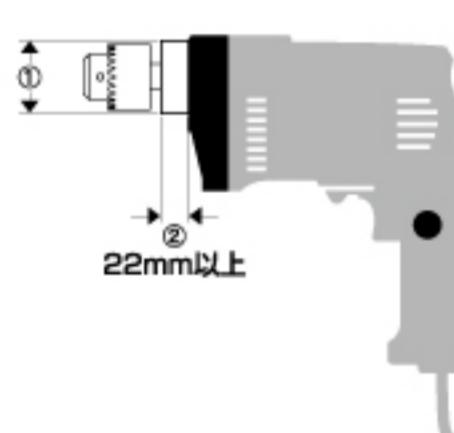
尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

\*外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

### 主要機能

- 製品寸法 高さ／510mm(ハンドル取り付け時は560mm)  
奥行／380mm  
ベース寸法／220mm×160mm×30mm  
最大ストローク／60mm(ハンドルの稼働寸法)  
質量／3.17kg

- 使用可能な電気ドリル(充電式ドリルDVやインパクトDVでは使用できません。)

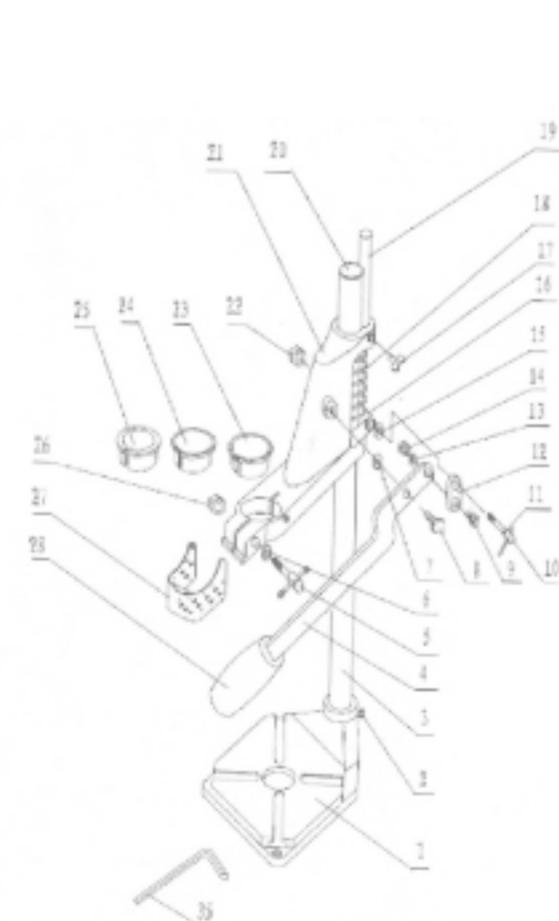


電気ドリルの首径(①の寸法)

- 45mm(アダプターにそのまま装着)
- 43mm(修正リング1mm厚を使用)
- 42mm(修正リング1.5mm厚を使用)
- 38mm(修正リング3.5mm厚を使用)

- 注) ①ドリルチャックが首径よりも太い機械は使用できません。  
②ドリルの首部分が短い機械は使用できません。(22mm以上必要)  
③ドリルの首部分がテーパーになっている機械や表面に凹凸がある機械は使用できません。  
④機械のドリルチャックがキーレスタイプは使用できません。

### 各部の名称および通常付属品



部品No.	品名	数量
1	ベース	1
2	支柱固定ボルト	1
3	支柱	1
4	ハンドル	1
5	ドリル用クランプボルト	1
6	ドリル用クランプボルトワッシャー(8mm)	1
7	ハンドル用ワッシャー(8mm)	1
8	ハンドル用固定ボルト	1
9	ハンドル用固定部品	1
10	支柱用クランプボルト	1
11	クランプボルト用スナップ	1
12	ハンドル用固定部品	1
13	ハンドル用ワッシャー(8mm)	1
14	ハンドル用固定部品	1
15	支柱用ワッシャー(8mm)	1
16	深さ調整バーツ	1
17	深さ調整ねじ	1
18	スプリング	1
19	深さ調整ビン	1
20	支柱	1
21	ボディ	1
22	支柱用固定ナット	1
23	ドリル首修正リング38mm用	1
24	ドリル首修正リング42mm用	1
25	ドリル首修正リング43mm用	1
26	ドリル用クランプボルト用ナット	1
27	飛散カバー	1
28	ラバーグリップ	1
29	六角レンチ5mm	1

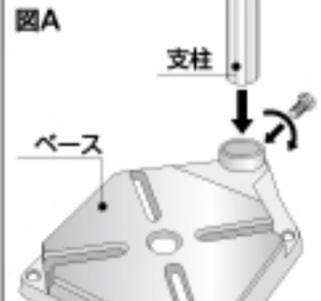
### 組み立て方法およびご使用方法



●本製品のベースを作業台などにしっかりと固定(クランプやボルトなどで)し、使用中に本製品が倒れることのないようにしてからご使用ください。

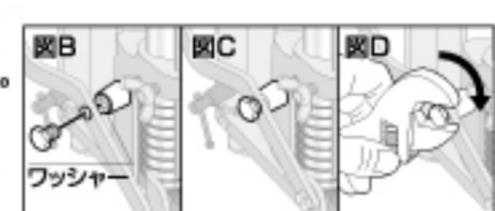
#### ①ベースと支柱を付属の六角ボルトでしっかりと固定します。(図A)

角ノミ作業をされる場合は部品No.27の飛散カバーは使用しませんので取り外して大切に保管してください。ドリルスタンドとして使用の際に取り付けでご使用してください。



#### ②ハンドル中央の穴に付属の六角ボルトを差し込み締め付けます。

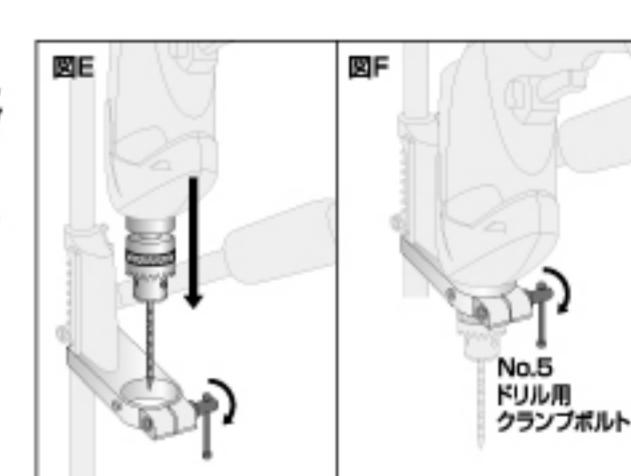
その際、図Bのようにまず、ボディ側面にワッシャーをあてがい、ハンドルの穴に六角ボルトを差し込んでください。(図C) 六角ボルトは最後までしっかりと締め付けてください。(図D)



#### ③電気ドリルをボディに取り付けします。

●電気ドリルの首をボディに差し込みます。(その時にドリル首径をご確認いただき、首修正が必要な場合はリングを取り付けてからアダプターに差し込んでください。)(図E)

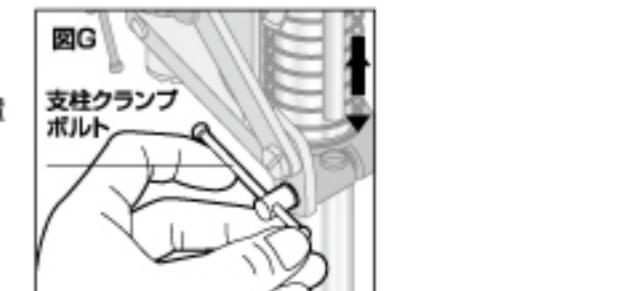
●部品No.5のドリル用クランプボルトでドリルを締め付けます。(図F)



#### ④ボディの高さ調整

##### (ベースとドリルとの距離を変更する)

支柱用クランプボルト(部品No.10)を緩め、ボディを必要な位置へ移動し、しっかりと固定してください。(図G)



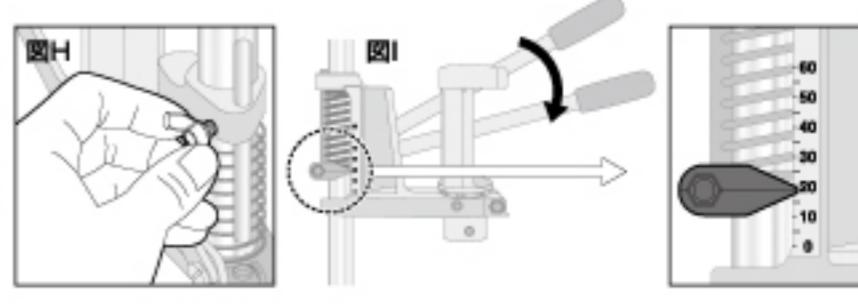
#### ⑤穴あけ深さ調整方法

##### (穴あけ深さを一定にする)

例) 穴あけ深さ20mmに設定する場合

①深さ調整ねじ(部品No.17)を緩めてください。(図H)

②ハンドルを押し下げ目盛20ラインで保持したまま、深さ調整ねじを固定してください。(図I)



#### ⑥その他の

##### バイスの取り付け方法

市販のボルト盤バイス(75mm程度)をご購入いただき、

ボルト・ナット・平ワッシャーなどをベースに取り付けしてください。

(ボルトはM8サイズ以下でご使用ください。)

##### お手入れ方法

ご使用後はボディとシャフト固定箇所及びハンドル稼働部などに潤滑スプレーなどを吹き付け保護してください。次回使用時にスムーズに作業ができます。